

■ 令和5年10月11日、北海道技術者育成プラットフォームが主催し、若手技術者向けにインフラ施設の業務に関連する分野の最近の話題や先進的な取組の情報を提供する等、スキルアップを図ることを目的とした「令和5年度 土木技術者育成講習会」（オンライン講習会・年度全3回中第1回）を開催。北海道内の地方自治体や民間企業などの技術者約80名が受講。

■ 本講習会では、本講習会運営事務局及び配信会場となった寒地土木研究所の4名の研究者より、研究成果を中心とした2テーマ4種のバラエティに富んだ講義をお届けいたしました。

日 時：令和5年10月11日(水) 14:00～16:30

開催方式：ZOOMウェビナー

その他：受講無料

土木学会継続教育(CPD)
認定プログラム

テーマ：港湾分野

【講義①】

複雑な海底地形に位置する消波護岸の越波流量及び作用波力に関する研究

(国研)土木研究所寒地土木研究所
寒地水圏研究グループ
寒冷沿岸域チーム

ひらの せいじ
上席研究員 平野 誠治 氏



【講義②】

漁港水域を有効活用した水産生物の増養殖について

(国研)土木研究所寒地土木研究所
寒地水圏研究グループ
水産土木チーム

かじはら るみこ
研究員 梶原 瑠美子 氏



開会挨拶

北海道技術者育成プラットフォーム 会長
旭川市立大学 学長 三上 隆 氏



【講義③】

道の駅の計画・設計・運営手法と地域振興効果について

(国研)土木研究所寒地土木研究所
特別研究監付
地域景観チーム

いわた けいすけ
主任研究員 岩田 圭佑 氏



テーマ：共通分野

【講義④】

土木インフラと地域の魅力、景観と環境、色彩と現場条件

(国研)土木研究所寒地土木研究所
特別研究監付
地域景観チーム

かさま さとし
主任研究員 笠間 聡 氏

受講者からの声

■ 全般に普段意識しないものにスポットをあてた研究の報告で、非常に興味深く拝聴した。特に道の駅の計画に対しては、景観が重要な要素であることや、駐車場マスの幅員について利用の状況から検証されていることが説得力あり、今後の業務にも活かせる話題であったと思う。

■ 久しぶりのWEB講習でしたが、寒地土木研究所のテーマは毎回興味深いものが多く、受講を楽しみにしていました。

■ 担い手不足と合わせて、技術力不足も指摘されているので大変貴重なプログラムでした。

■ 北海道・寒冷地での研究成果報告ではあるが、関東の自分にも非常に有意義な講習であったので、今後も続けて実施してほしい。

■ 今回初めて参加させていただきましたが、講義の説明が分かりやすく有意義でした。社内の参加を促したいと思います。

■ 今回、寒地土木研究所からのご講演で大変有意義でした。我々施工業者がなかなか知ることのできない、事業の根幹となる調査や実験の内容を知ることができ、勉強になりました。